

1. 浮き楽栽培法における水稻育苗培土を利用したリーフレタス栽培

1. 背景とねらい

当センターは、これまでに「水稻の良質苗生産」及び「育苗ハウスを活用した葉菜類栽培」の両立を実現する浮き楽栽培法を開発しています。葉菜類栽培では、根域の酸素不足を軽減するため、培地として粒の粗い「ダム堆積土」を推奨してきましたが、入手できない場合の代替培地について検討しました。

2. 成果の内容

- 1) リーフレタスの移植栽培において、りゅうおう床土寒地用、りゅうおう床土暖地用、宇部粒状培土 2 号の三種類の水稻育苗培土の利用を検討しました。培土に含まれる肥料分の違いにより、成長に若干の差はみられましたが、いずれの培土でも栽培できます(図 2, 表 1)。
- 2) 水稻育苗培土に粉碎カキガラ容積比で 5% 混和し、下記の肥効調節型肥料を培地 100L 当たり 150~300g を添加して使用します。
- 3) 肥効調節型肥料は、気温の高い時期にはシグモイド溶出型(N:P₂O₅:K₂O=14%:11%:13%, 100 日タイプ)、気温の低い時期にはリニア溶出型(N:P₂O₅:K₂O=14%:11%:13%, 40 日タイプ)を用います。

3. 普及上の留意点

- 1) 最適な肥効調節型肥料の添加量は、品種や栽培時期によって異なります。肥料切れの場合には、追肥してください。
- 2) リーフレタスは、肥料の含まれる水稻育苗培土に直接播種すると、肥料焼けを起こしてうまく発芽しないことがあります。
- 3) 詳しくは、当センターのホームページで公開している「浮き楽栽培マニュアル葉菜類栽培編」をご覧ください(検索キーワード:浮き楽, 葉菜類, マニュアル)。

(栽培技術研究部)

4. 具体的データ



A 培土 B 培土 C 培土
 りゅうおう床土（寒地用） りゅうおう床土（暖地用） 宇部粒状培土 2 号

図 1 浮き楽栽培法におけるリーフレタス栽培で用いた水稻育苗培土

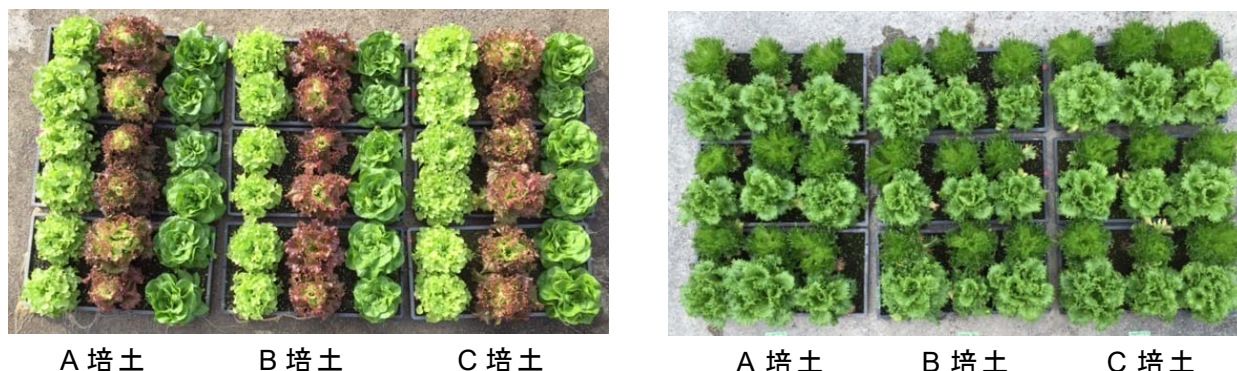


図 2 浮き楽栽培法における水稻育苗培土がリーフレタスの成長に及ぼす影響

写真左：左からグリーンオーク，サンブライト，バイオサラダ
 写真右：上段；フリルレタス，下段；グリーンリーフ

表 1 浮き楽栽培における水稻育苗培土がリーフレタスの生育に及ぼす影響

品種	培土	葉数 (枚)	草丈 (cm)	生体重 (g)	葉色 (SPAD)
グリーンオーク	A	33.5	10.2	58.0	18.3
	B	30.2	9.6	45.8	16.3
	C	33.0	10.3	58.0	16.6
サンブライト	A	15.2	12.9	58.5	18.5
	B	13.8	11.3	38.4	18.1
	C	15.6	12.3	47.8	17.2
バイオサラダ	A	36.5	10.0	83.3	37.9
	B	30.3	8.8	72.2	36.7
	C	32.5	12.3	82.2	36.8
グリーンリーフ	A	16.8	15.7	83.6	32.6
	B	16.6	15.2	77.4	32.9
	C	18.0	16.0	84.4	30.2
フリルレタス	A	17.6	13.7	55.5	17.7
	B	17.2	13.8	62.7	15.2
	C	18.1	14.6	63.4	10.8

- 1) グリーンオーク，サンブライト及びバイオサラダは 2015 年 9 月 14 日定植，11 月 6 日収穫。
- 2) グリーンリーフ及びフリルレタスは 2015 年 9 月 14 日定植，11 月 6 日収穫。
- 3) シグモイド溶出型肥効調節肥料を培土 100L 当たり 150g 配合。

本研究は、攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業（課題名：中山間地等条件不利地域の集落法人における軽労・効率的作業管理技術を核とする水田作の実証）において取り組みました。